

BAND CLINIC REPORT

2026.02.17 野上先生 特別レッスンまとめ

基礎合奏から楽曲分析まで：
次のレベルへ進むための指針

埼玉県立高校 吹奏楽部



今が「勝負の2・3月」である

新入生を迎える前に、個人とバンドの「基準」を上げる



Deadline

今上手くなしないと、
新入生に教えられない



Self-Reflection

自分自身に厳しく、
何ができていないかを明確にする



Target

「新人戦」レベルから
「大学・全国」レベルへ

「作業」をするな。「練習」をせよ

惰性での練習を排除し、意図を持つ

NG: Routine Work (作業)



メニューをただこなすだけ

チューナーの針だけを見ている

指示待ちの姿勢

OK: Nogami Style (練習)



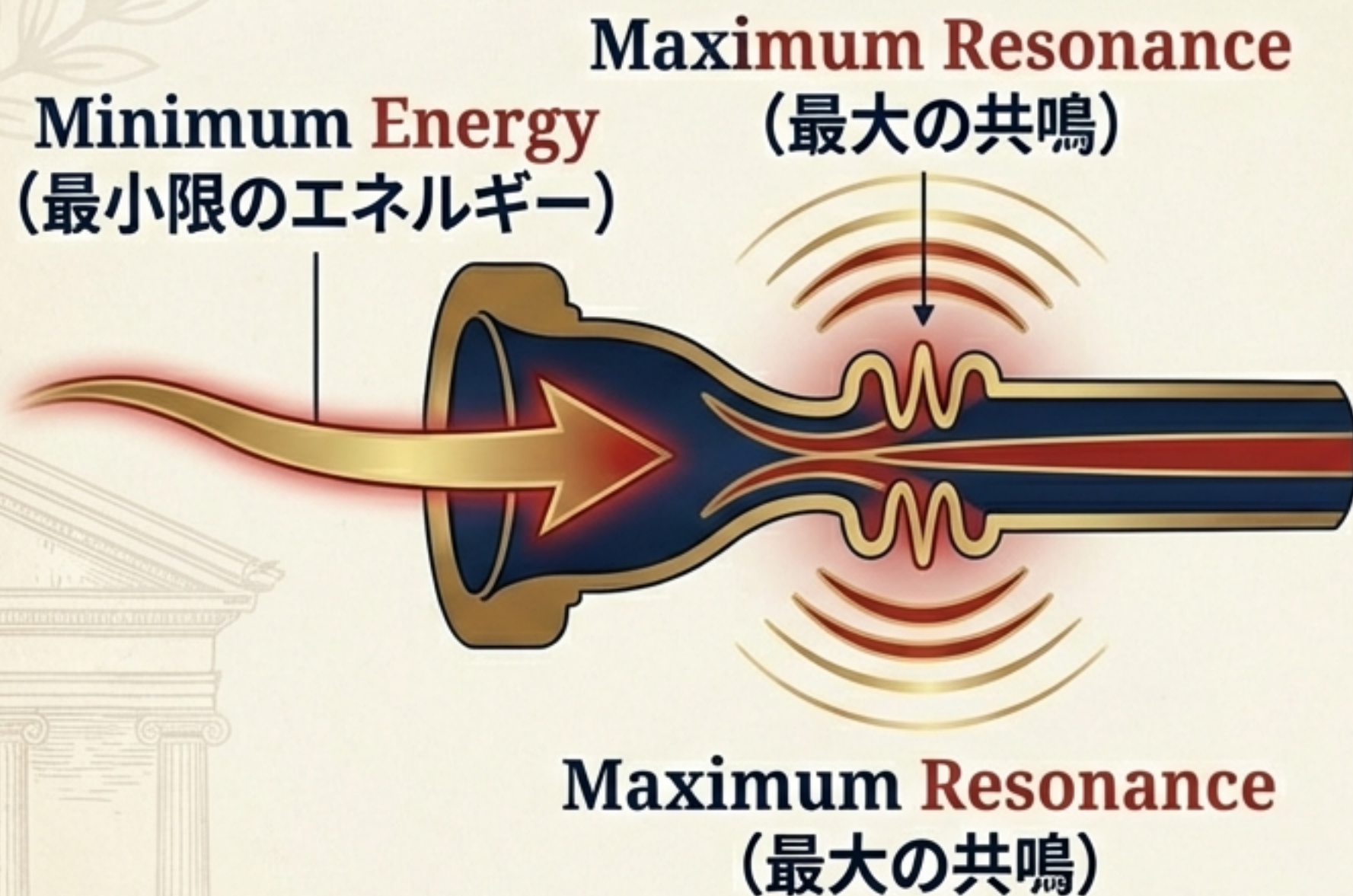
一音ごとに**目標を宣言**する
(例:「音程」「ブレンド」)

吹いた直後に**相互評価**する
(「今のどうだった?」)

常に**思考を止めない**

Action: パート練習では、吹く前に必ず**目的を口に出す**こと。

基礎合奏の再定義①：ブレスと効率



The One Breath Rule

フレーズを一息で支えられるか？
もしできないなら効率が悪い。

Efficiency > Volume

無理に息を込まない。
楽器を「鳴らす」のではなく「響かせる」。

Avoid Over-blowing

音割れ(オーバーブロー)は雑音である。

※ 低音楽器は抵抗が少ないため、より厳密な効率化が必要。

基礎合奏の再定義②：「音程」ではなく「スピード」を合わせる

Bow Speed
(弓のスピード)

Breath Speed
(息のスピード)

- 音量で隠れるな
小さく吹いてごまかさない。セクションリーダーのエネルギーと速度に合わせる。
- Active Waiting (待機時間の活用)
5-6分の休みは休憩ではない。周りの音色を聴き、入る瞬間の「色」をイメージする。

音楽の構成：ステーキと「箸休め」

常に全力(ゴージャス)では、聴き手は胃もたれする



- **Piano (p)**: 単に「弱い」ではない。緊張感と支えが必要。
次のForteを引き立てるための凝縮された音。
 - **Forte (f)**: 怒鳴らない。音質を保ったままの響き。
- Goal: 大学生のような「大人の構成感」を身につける。

自立したテンポ感： 指揮者を見るな、グルーブを作れ



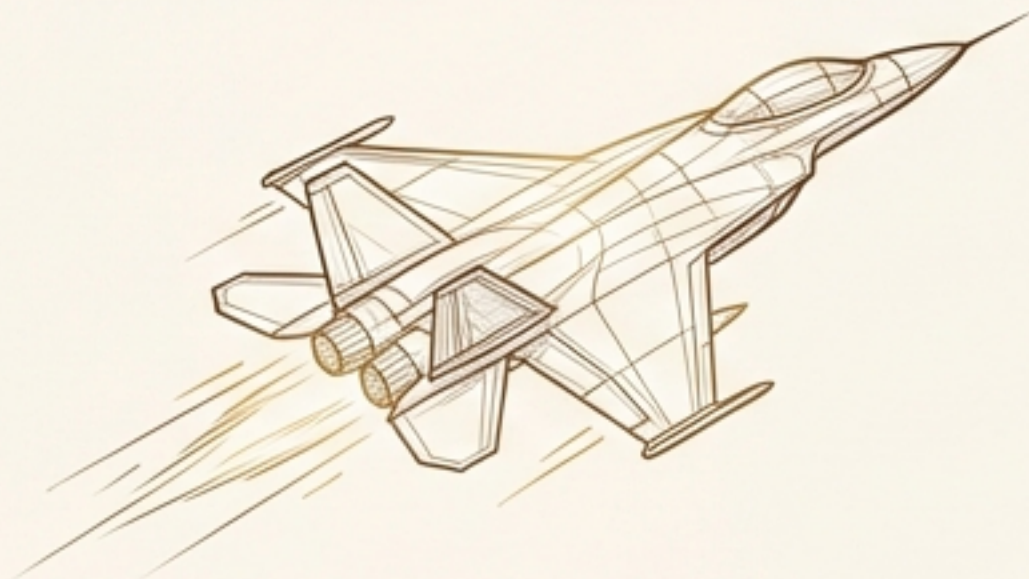
- **Autonomy:** 指揮棒に反応するだけでは必ず遅れる。奏者自身がテンポを作る。
- **Groove:** 16分音符(タタタタ)のハマリ具合を確認せよ。甘いリズムは音楽を停滞させる。
- **Articulation:** Slur, Staccato, Tenutoの違いを明確に吹き分ける。

「自分たちで音楽を作る意識を持て」

楽曲分析：冒頭～17小節

Measure 1-4

Propulsion (推進力)



- 最新戦闘機の発進のような**エネルギー**。音量だけでなく、前へ進む**ベクトル**を持つ。

Measure 17

Atmosphere (漂う香り)



- 遠くから音が立ち現れるイメージ。
- スラーを緩ませず、**明確なアーティキュレーション**で。

エネルギーの爆発点：52小節とブレス



- **Location:** Measure 52, 1st Beat (4分休符)
- **Action:** ただの休みではない。ホームランを打つ直前の「溜め」。
- **Instruction:** 鋭く、エネルギーを充填するブレスをとる。

打楽器とリズムの色彩

Percussion Color (M167~)



- 全てのForteを同じにしない。フレーズに合わせた**音色の変化**をつける。

Timpani Anchor (M215)



- テンポ（約200）の番人となる。走らず、もたつかず、**バンドの心臓**になる。

Chimes



- 埋もれない。もっと早く、もっと**鋭く立ち上げる**。

クライマックスの音色とバランス



Crescendo Management

- **ピークを早めない。**
- ppからffへの**エネルギー配分を計算する。**

今後の課題：楽譜を「読み直す」

- ✓ **脱・慣れ (Stop Habitual Play)**: 暗譜や慣れで吹かない。強弱記号 (p, f, cresc.) をすべて再確認する。
- ✓ **目的の言語化**: 基礎合奏のワンフレーズごとに、具体的な技術目標を持つ。
- ✓ **リーダーシップ**: 新入生を迎えるための「**見本**」となる演奏と態度。

新人戦の基礎の上に、「知性」と「感性」を上乘せせよ。